

「JR博多シティ」3日開業

全国発信の好機 本県企業も出店

今月3日に開業する新博多駅ビル「JR博多シティ」の内覧会が28日、現地であり、オープンを3日後に控えた各店舗の準備作業が公開された。本県からも飲食部門を中心に約10店舗が出店。九州新幹線鹿児島ルート全線開業(12日)を機に「博多から長崎の食を全国に発信したい」と意気込んでいる。



本県から唯一、9、10階のレストラン街に出店する
海鮮イタリア料理店「ザッコ アルポルト」
＝JR博多シティ

博多シティは地上10階地下3階建て(延べ床面積約20万平方メートル)で、商業駅ビルでは国内最大規模。生活雑貨の東急ハンズや婦人服など約230店舗が入る複合商業施設「アミュープラザ博多」と博多阪急などで構成している。全体の年間売り上げ目標は約700億円。

九州や関西、中国地方をはじめ、海外客もターゲットに1日平均10万人の来場客を見込んでいる。シネマやホールのほか、地上60以上の屋上には子どもが楽しめるミニNSLや出店などもあり、終日楽しめる大型施設だ。

JR九州が「一番こだわりの力を入れた」と胸を張る9、10階のレストラン街には、「ミシュランガイド」で星を獲得するなど一流どころの46店舗がすらりと並び、緑と光をふんだんに取り入れた心地よい空間だ。この飲食街には、本県から唯一、庄屋フードシステムグループ(佐世保市)の「ザッコ アルポルト」が出店。イタリア料理界の巨匠、片岡護氏がプロデュースする九州産の海鮮イタリア料理の店で、店内からは市街地も一望できる。中村春樹取締役(34)は「開業準備はほぼ終わった。長崎からもぜひ食べに来てほしい」と語

新幹線効果に熱視線

飲食中心に10店舗

つた。同グループは定食屋「百菜 旬」も地下1階に出店する。

東京・赤坂に本店を構えるナポリピザの名店「エッセドウエ」の磯冲留二社長(37)は五島市出身。3年前に東京で飲食会社を起業し、羽田空港に次いで念願の九州初出店を果たした。磯冲社長は「何としても成功させ、最終的には長崎に店を出したい」と気合を入れた。アミュープラザ博多と博多阪急の地下街やフードコートには、長崎市の「長崎ぶたまん桃太郎」や「大村寿し」(平野屋)、長崎ちゃんぼんの「蘇州林」が県外初出店を果たしたほか、小浜チャンポンやカステラなどのスイーツ店もお目見え。美容室「シャンプーボーイ」(佐世保市)も進出する。(向井真樹)



3日に開業する新博多駅ビル「JR博多シティ」
＝福岡市博多区